



## ジブチ沿岸警備隊に対する能力向上支援(結果概要)

### ～FOIPの実現に向けた取組みを推進～

海上保安庁は、令和6年10月17日(木)から11月2日(土)までの間、外国海上保安機関に対する能力向上支援の専従部門「海上保安庁 MCT (Mobile Cooperation Team)」3名を独立行政法人国際協力機構(JICA)の枠組みでジブチ共和国に派遣し、ジブチ沿岸警備隊(DCG)職員に対し、今年度第2回目となる能力向上支援を実施しました。

#### 1 実施項目

- ・ 船舶移乗訓練
- ・ 停船追跡訓練

#### 2 結果概要

船舶を想定した陸上コンテナ施設や船舶を使用し、船舶移乗指導官候補生による他のDCG職員への船舶移乗にかかる指導状況を確認のうえ指導法等に関する助言を行いました。また、停船追跡指導官候補生に対し停船追跡にかかる指導助言を行いました。

引き続き、DCGに対する能力向上支援を通じて、我が国の重要な海上交通路でもある同国周辺海域の安全確保に貢献してまいります。

海上保安庁では、今後も、法の支配に基づく「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の実現に向け、各国の海上保安機関との連携・協力関係を強化していくとともに、インド太平洋地域の海上保安機関の能力向上支援に積極的に取り組んでまいります。

#### (参考)

本プログラムは、独立行政法人国際協力機構(JICA)による「ジブチ沿岸警備隊能力拡充プロジェクト」の一環として実施しています。平成25年から短期専門家として海上保安庁職員をジブチ共和国に定期的に派遣し、能力向上支援を行っています。現在、同プロジェクトにより、現場対応能力向上及び指導者育成の支援を行っています。



結索訓練



船舶移乗訓練(於:DCG 船艇)



資器材整備



停船追跡訓練



停船追跡訓練(訓練説明時の状況)



集合写真